

第2回 とこの議会だより



○欄に適切な言葉を入れてください。

その①

議案第 42 号は、賛成○人、反対○人の賛成多数で可決されました。

その②

議員 1 人あたりに交付される政務活動費は年額○万円です。

その③

今秋に開催される市民と議会との「秋の懇談会」は○月に開催されません。



この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後まで読んでみてください。

《応募方法》

クイズの答え・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。

議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見等もお書き添えてください。

ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。

正解者の中から、抽選で 3 名の方に図書カード 1,000 円分をお贈りします。

(当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます)

《あて先》

〒028-0392

遠野市宮守町下宮守 29-77

遠野市議会事務局 宛

《しめきり》

平成 25 年 8 月 16 日 (当日消印有効)

～第 1 回クイズの答え～

①託された責任を未来につなぐ予算

② 8 校から 3 校 ③ 80 年

～ 当 選 者 ～

R・T さん (松崎町白岩) E・K さん (松崎町白岩)

Y・D さん (早瀬町)

〔広聴広報常任委員会〕

委員長	瀧澤 征幸
副委員長	菊池 由紀夫
委員	佐々木 大三郎
委員	多田 勉
委員	瀧本 孝一
委員	萩野 幸弘

(多田勉)

わたしのひとこと



たか はし じゅん  
 高 橋 淳 さん  
 (松崎町)

とこの遠野に馴染む

先日、遠野伝承園にて語り部である佐々木イセさんのお話を聞く機会がありました。お話を聞いたのは、カップパ、ザシキワラシ、オシラサマなどの有名なお話の数々。同じ岩手県内ですが、奥州市江刺区出身の私の耳では聞き取れない言葉もちらほら。楷書で綴られた柳田國男氏の「遠野物語」とはまた違い、イセさんの言葉一つひとつに一気に惹きこまれるものがありました。

外から見ているからでしょうか？ そうかもしれません。灯台下暗し、いざ私も遠野に溶け込んでしまうと、その魅力は当たり前のもとなってしまう、忘れてしまうかも知れません。謙遜して語らなくなるかもしれません。

このコーナーは、市民の皆さまの町づくりの夢や希望などを掲載しています。掲載希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

まだ見ぬ遠野の魅力はたくさんあることでしょう。手始めに「とおの物語の館」を訪問し、歴史を学ぼうかと思えます。

編集後記

連日夏日が続く今日、市内でも水不足が深刻化し、田植えを諦めた農家もあると聞く。私は今年から慣れない野菜作りに挑戦。苗は買い揃えたが、畑は土ほこりが舞うような状況。苗は窮屈なポットの中で、広い畑への一日も早い定植を待っている。

6月議会の議場もアツかったなあ。民謡議員による一般質問での冒頭の問いに答える形で、市長も統投を表明。

市民は、議会と当局の白熱した議論を期待し、熱い視線を注いでいる。その思いに応えるため、議員一同頑張る所存だ。

皆様のご提言をお待ちしております